

2010年12月期 決算説明会

お客様のニーズに応えるプラスチック製食品包装容器の製造・販売



2011年2月24日
中央化学株式会社
(JASDAQ スタンダート:7895)

1. 2010年12月期 決算実績

2. 2011年12月期 決算見通し

3. 今後の展望

4. 添付資料

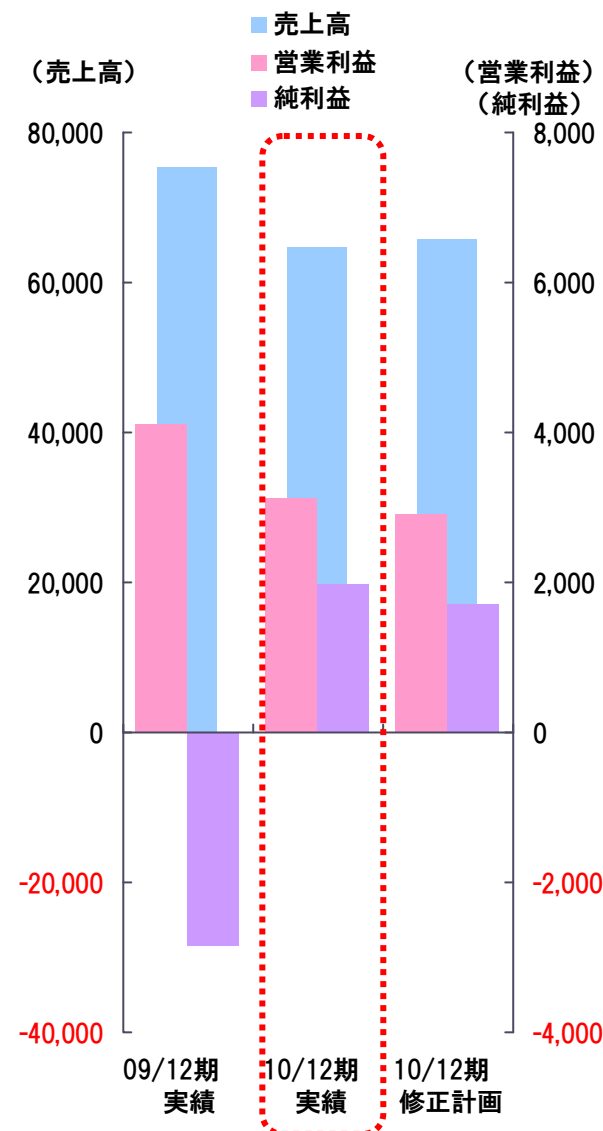
1. 2010年12月期 決算実績

 中央化学株式会社

10/12期決算の実績

(単位:百万円)

	09/12期	10/12期			
	実績 (構成比)	実績 (構成比)	前期比	8/9発表 修正計画 (構成比)	達成率
売上高	75,576 (100%)	64,699 (100%)	△14.4%	65,800 (100%)	98.3%
売上総利益	18,996 (25.1%)	15,085 (23.3%)	△20.6%	16,100 (24.5%)	93.7%
営業利益	4,096 (5.4%)	3,129 (4.8%)	△23.6%	2,900 (4.4%)	107.9%
経常利益	3,016 (4.0%)	2,391 (3.7%)	△20.7%	2,200 (3.3%)	108.7%
当期純利益	△2,861 (-)	1,961 (3.0%)	—	1,700 (2.6%)	115.4%



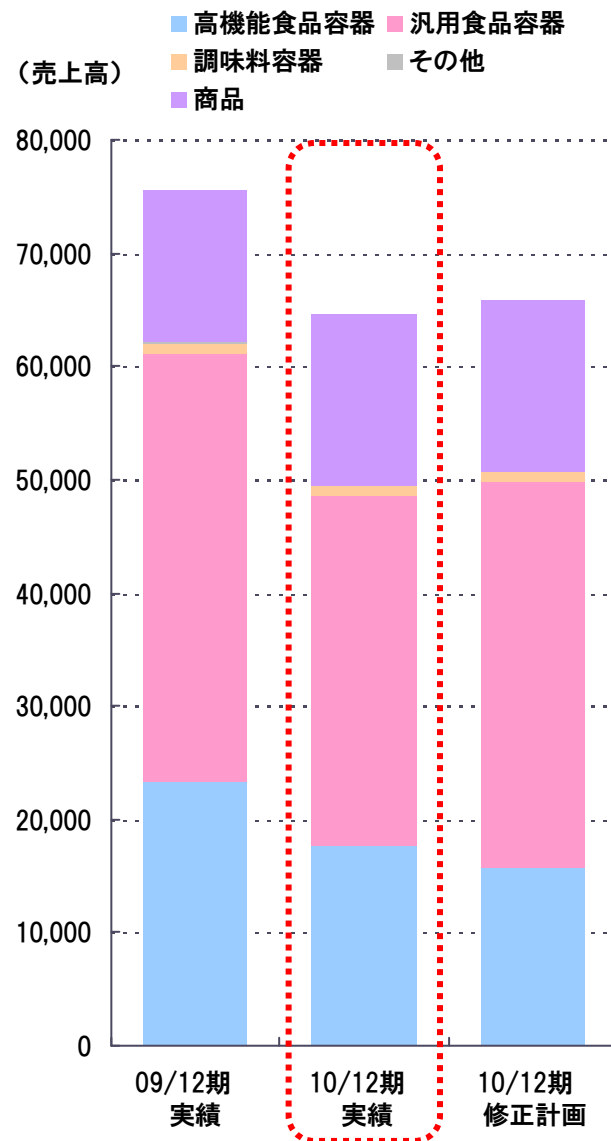
※ 連結子会社であった米国子会社C&M社の全株式を2009年11月に譲渡したことにより、10/12期は連結対象外になっております。同じく連結子会社であった中国子会社の重慶中央化学有限公司は2010年9月に清算終了したことにより、清算終了時点までの損益計算書のみ連結しております。

売上高の種類別内訳

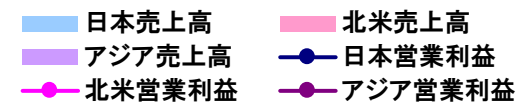
中央化学株式会社 5

(単位:百万円)

	09/12期	10/12期			
	実績 (構成比)	実績 (構成比)	前期比	修正計画 (構成比)	達成率
製 品	62,204 (82.3%)	49,533 (76.6%)	△20.4%	50,700 (77.0%)	97.7%
高機能 食品容器	23,306 (30.8%)	17,744 (27.4%)	△23.9%	15,700 (23.9%)	113.0%
汎用 食品容器	37,741 (49.9%)	30,734 (47.5%)	△18.6%	34,100 (51.8%)	90.1%
調味料 容器	951 (1.3%)	894 (1.4%)	△6.0%	800 (1.2%)	111.8%
その他	204 (0.3%)	160 (0.3%)	△21.6%	100 (0.1%)	160.0%
商 品	13,371 (17.7%)	15,166 (23.4%)	13.4%	15,100 (23.0%)	100.4%
売 上 高	75,576 (100%)	64,699 (100%)	△14.4%	65,800 (100%)	98.3%

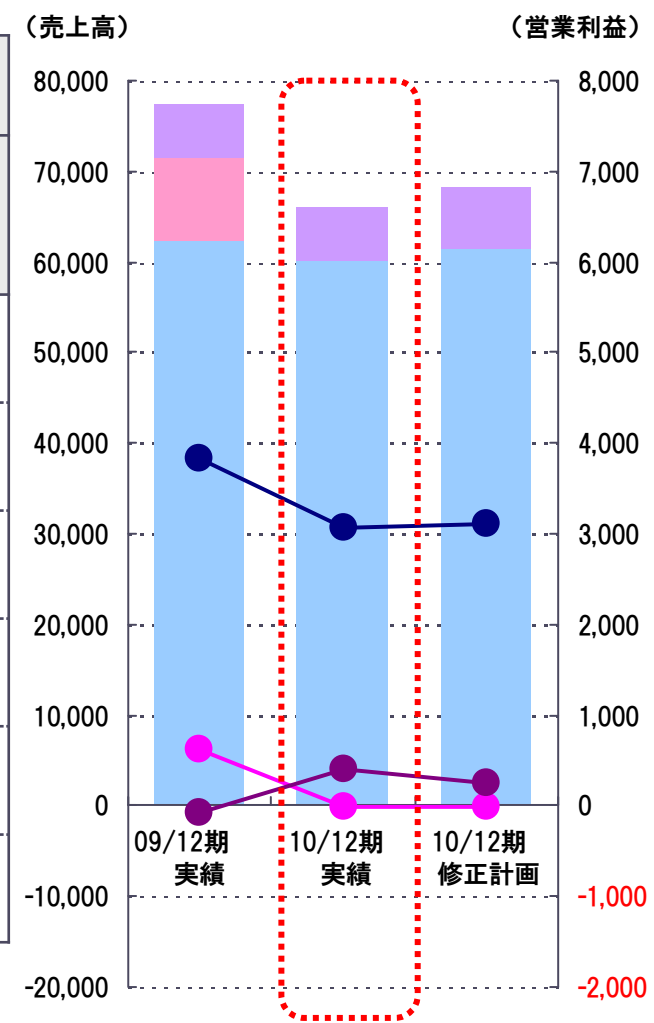


所在地別セグメントの損益



(単位:百万円)

		09/12期	10/12期			
		実績	実績	前期比	修正計画	達成率
日本	売上高	62,217	60,239	△3.2%	61,500	97.9%
	営業損益	3,825	3,069	△19.8%	3,100	99.0%
北米	売上高	9,204	—	—	—	—
	営業損益	622	△14	—	△20	—
アジア	売上高	5,975	5,704	△4.5%	6,800	83.9%
	営業損益	△85	394	—	250	157.6%



※ アジアの外部顧客に対する現地通貨ベース売上高でみると前期比11.4%の増収
(09/12期332百万円、10/12期370百万円)

貸借対照表の実績

中央化学株式会社 7
(単位:百万円)

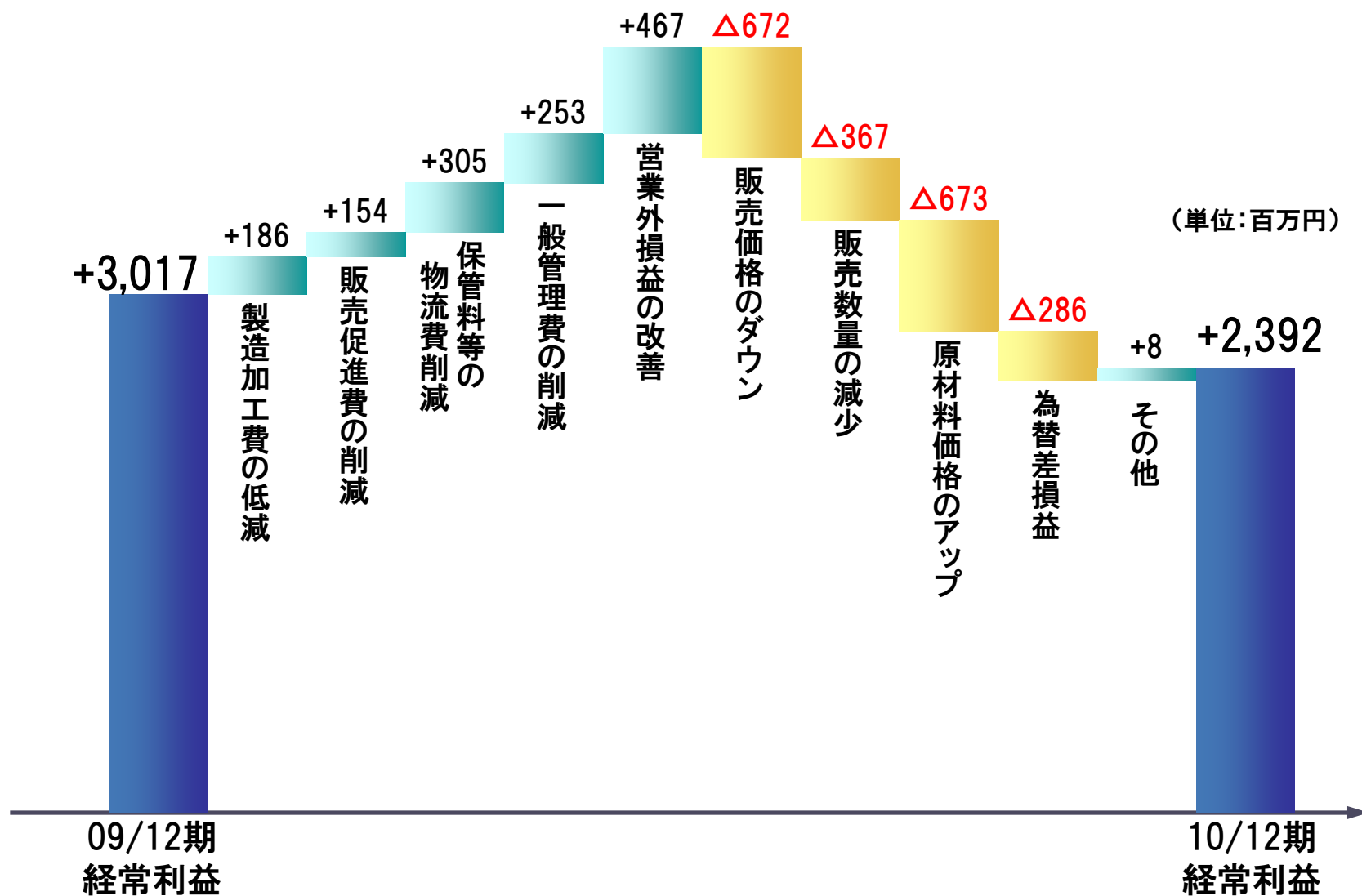
	09/12期	10/12期	増減額	要因
流動資産	28,968	28,115	△853	
現金及び預金	7,422	6,100	△1,321	割引等の減少
受取手形及び売掛金	11,961	12,801	840	〃
商品及び製品	6,051	5,510	△540	在庫圧縮
固定資産	23,990	22,200	△1,789	
有形固定資産	20,039	18,376	△1,663	
(リース資産・純額)	(2,905)	(2,216)	(△689)	
無形固定資産	450	426	△23	
投資その他の資産	3,500	3,397	△102	
資産合計	52,958	50,315	△2,643	
負債合計	42,488	37,102	△5,385	
有利子負債残高	19,894	18,198	△1,695	借入金返済
(リース債務)	(3,083)	(2,407)	(△675)	
純資産合計	10,470	13,212	2,742	(自己資本比率:19.8%⇒26.3%)
負債純資産合計	52,958	50,315	△2,643	

キャッシュフローの実績

(単位:百万円)

	09/12期	10/12期	増減額	要因
営業活動による キャッシュ・フロー	6,915	2,828	△4,087	C&M社除外減少15億円、営業利益減少10億円、消費税等の支払減少8億円、割引・流動化減少7億円
投資活動による キャッシュ・フロー	801	△1,300	△2,102	C&M社売却関連減少16億円、投資有価証券売却収入減少4億円
財務活動による キャッシュ・フロー	△2,569	△2,529	△40	
現金及び現金同等物 に係る換算差額	21	△319	△341	
現金及び現金同等物 の増加額又は減少額	5,169	△1,321	△6,491	
現金及び現金同等物 の期首残高	2,252	7,422	5,169	
現金及び現金同等物 の期末残高	7,422	6,100	△1,321	

経常利益の増減分析



2. 2011年12月期 決算見通し

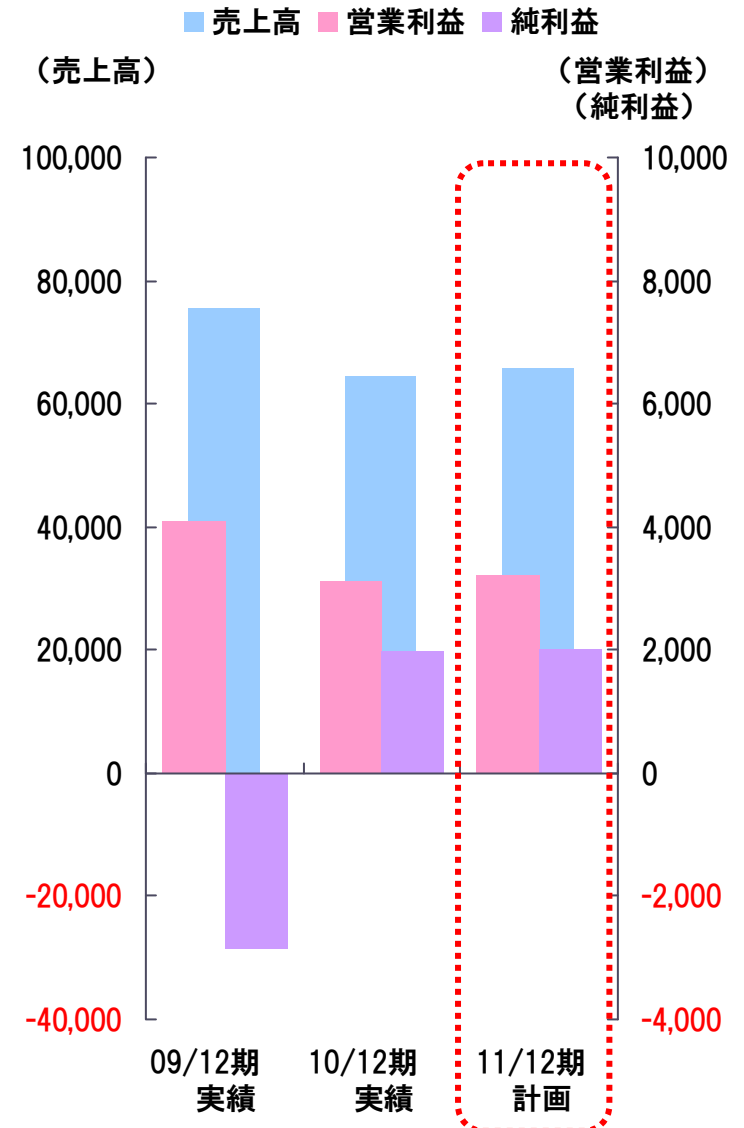
 中央化学株式会社

11/12期決算の見通し

中央化学株式会社 11

(単位:百万円)

	09/12期	10/12期	11/12期	
	実績 (構成比)	実績 (構成比)	計画 (構成比)	前期比
売上高	75,576 (100%)	64,699 (100%)	66,000 (100%)	2.0%
売上総利益	18,996 (25.1%)	15,085 (23.3%)	15,300 (23.2%)	1.4%
営業利益	4,096 (5.4%)	3,129 (4.8%)	3,200 (4.8%)	2.3%
経常利益	3,016 (4.0%)	2,391 (3.7%)	2,400 (3.6%)	0.4%
当期純利益	△2,861 (-)	1,961 (3.0%)	2,000 (3.0%)	2.0%



※ 連結子会社であった米国子会社C&M社の全株式を2009年11月に譲渡したことにより、10/12期は連結対象外になっております。同じく連結子会社であった中国子会社の重慶中央化学有限公司は2010年9月に清算終了したことにより、清算終了時点までの損益計算書のみ連結しております。

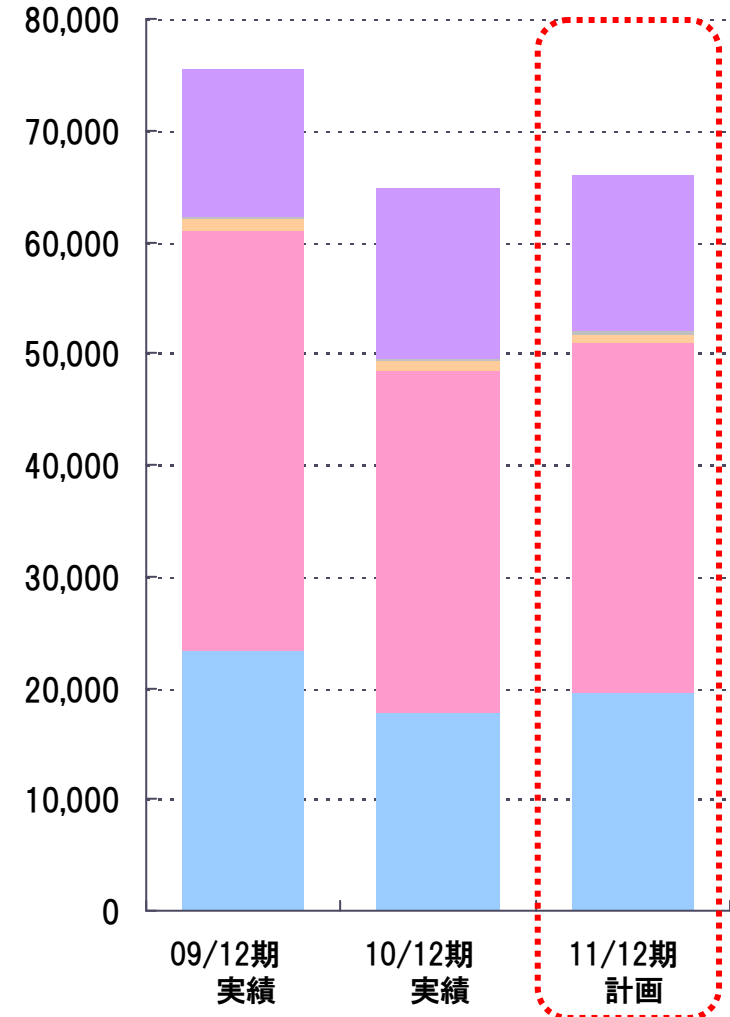
売上高の種類別内訳

 中央化学株式会社 12

(単位:百万円)

	09/12期	10/12期	11/12期	
	実績 (構成比)	実績 (構成比)	計画 (構成比)	前期比
製 品	62,204 (82.3%)	49,533 (76.6%)	52,000 (78.8%)	5.0%
高機能食品容器	23,306 (30.8%)	17,744 (27.4%)	19,500 (29.5%)	9.9%
汎用食品容器	37,741 (49.9%)	30,734 (47.5%)	31,400 (47.6%)	2.2%
調味料容器	951 (1.3%)	894 (1.4%)	800 (1.2%)	△10.5%
その他	204 (0.3%)	160 (0.3%)	300 (0.5%)	87.5%
商 品	13,371 (17.7%)	15,166 (23.4%)	14,000 (21.2%)	△7.7%
売 上 高	75,576 (100%)	64,699 (100%)	66,000 (100%)	2.0%

(売上高)

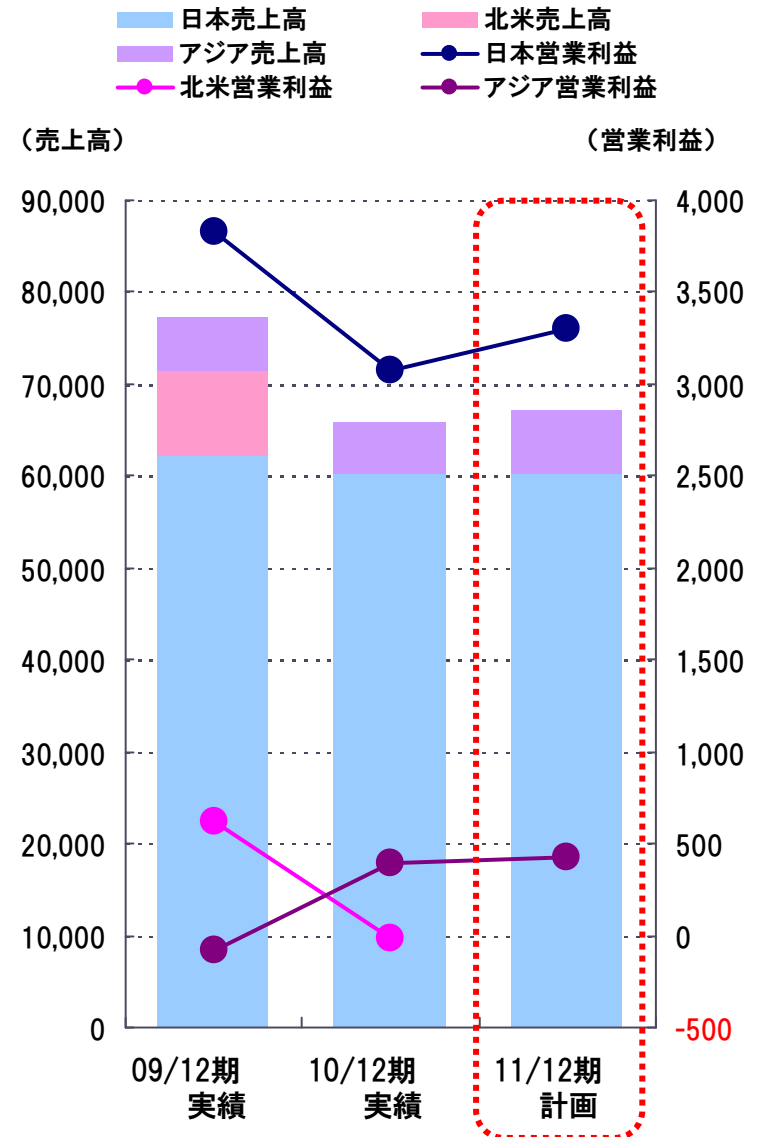


所在地別セグメントの損益

中央化学株式会社 13

(単位:百万円)

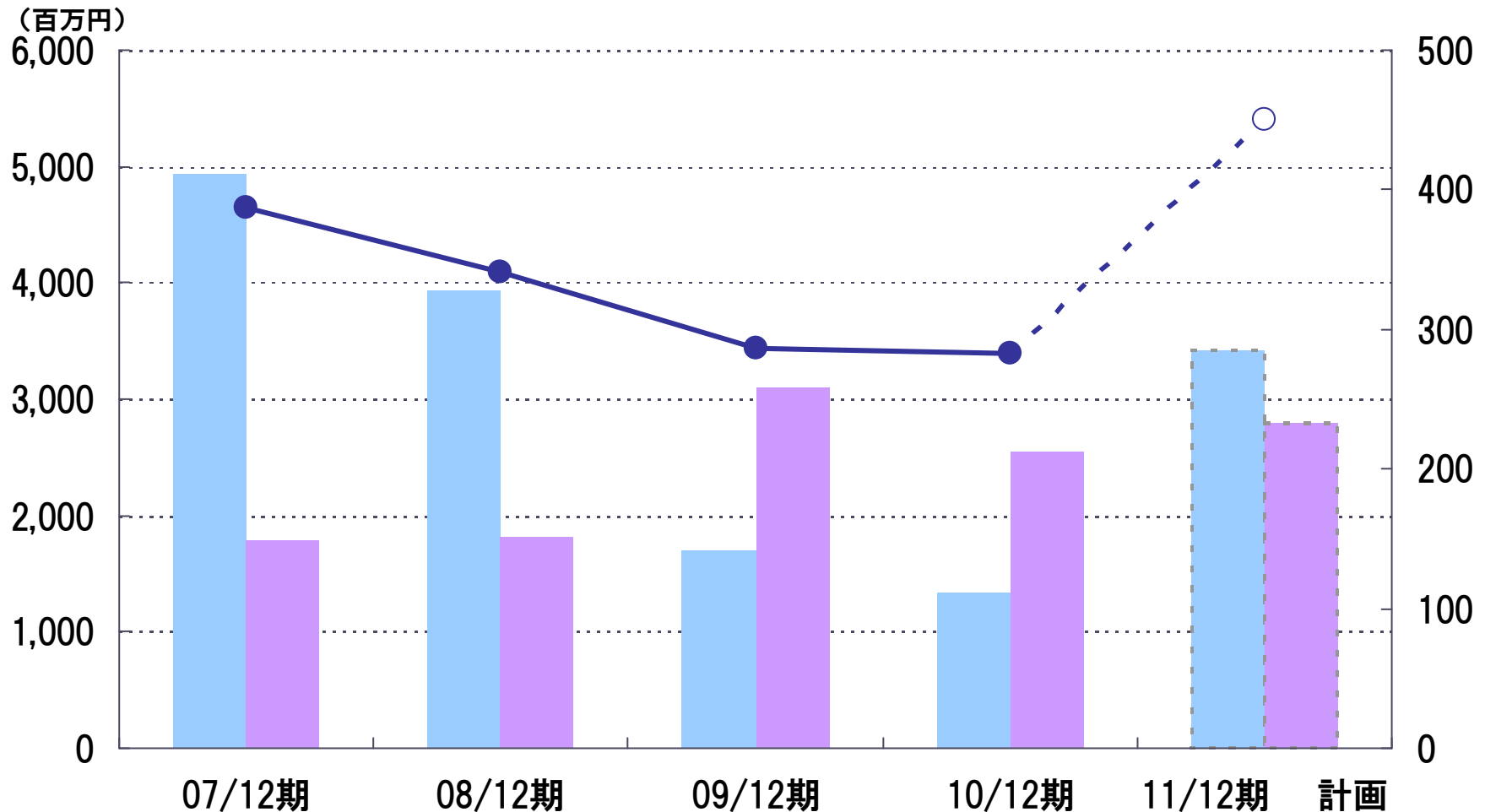
		09/12期	10/12期	11/12計画	
		実績	実績	計画	前期比
日本	売上高	62,217	60,239	60,300	0.1%
	営業利益	3,825	3,069	3,300	7.5%
北米	売上高	9,204	—	—	—
	営業利益	622	△14	—	—
アジア	売上高	5,975	5,704	6,800	19.2%
	営業利益	△85	394	430	9.1%



設備投資、減価償却及び研究開発の状況

中央化学株式会社 14

設備投資額(左軸) 減価償却費(左軸) 研究開発費(右軸)



※ 参考: 旧基準減価償却費09/12期 1,906百万円、10/12期 1,647百万円、11/12期計画 2,100百万円

3. 今後の展望

 中央化学株式会社

今後の展望

- ① 中期経営計画の策定と位置付け
- ② 事業環境認識
- ③ 経営方針
- ④ 中期経営計画の数値目標
- ⑤ 国内における事業構造改革推進による収益性改善
- ⑥ 素材／アイテムの選択と集中
- ⑦ 供給体制の見直しと“ものづくり”基盤の強化
- ⑧ ユーザー基点の営業姿勢
- ⑨ 中国事業の方針転換
- ⑩ 開花しつつある中国での事業
- ⑪ 中国での収益確保のための事業基盤の再構築
- ⑫ 国内外の一体運営

中期経営計画の策定と位置付け

日本一の食品包装容器メーカーの再興

Hop

Step

Jump

2011

2012

2013

2014

2015

2016

2017

2018

2019

2020

中期経営計画

事業環境認識

日本

一般消費市場は
縮小傾向

- ・少子高齢化の進展
- ・デフレ社会の継続
- ・同業他社との競争激化

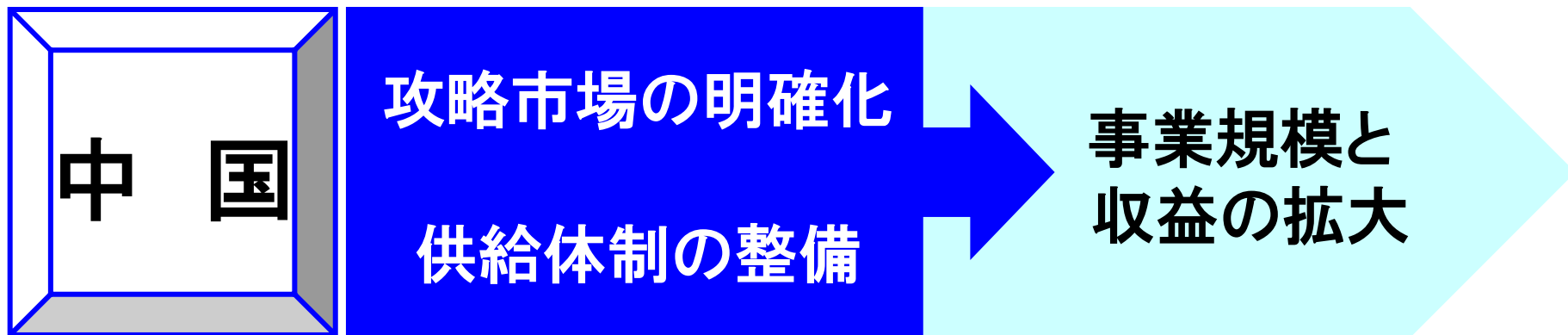
当社を
取り巻く
事業環境

中国

高い経済成長
による
市場拡大
(中間層・富裕層の拡大)

- ・食品包装市場の急拡大
- ・食への安全意識の高まり
- ・日系小売業の本格進出

経営方針



中期経営計画の数値目標

「日本一の食品包装容器メーカー」再興への基礎固め

(単位:百万円)

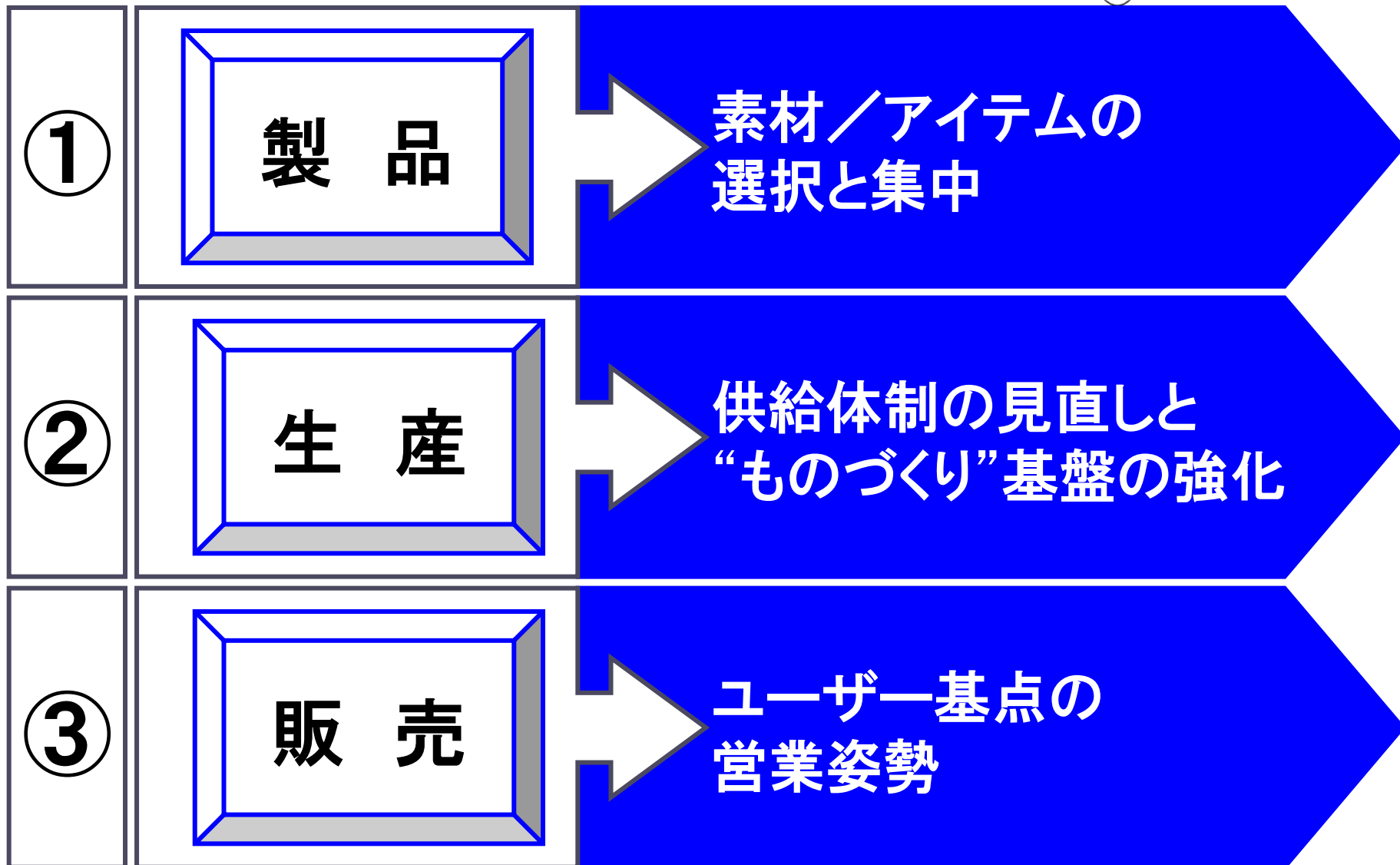
	10/12期	
	売上高	営業利益
日本	60,239	3,069
中国	5,704	394
合計	65,944	3,464



13/12期	
売上高	営業利益
63,500	3,500
10,300	1,300
73,800	4,800

※ 連結消去前を表示

国内における事業構造改革推進による収益性改善



素材／アイテムの選択と集中

素材 の 集約

切替ロス削減、生産・業務効率向上

アイテム削減、在庫の削減

多機能素材の製品化

供給体制の見直しと“ものづくり”基盤の強化

生販地域アンバランス
の解消

即納体制の確立

横持経費の削減

歩留・稼働率向上

“ムリ”、“ムダ”、“ムラ”
の排除

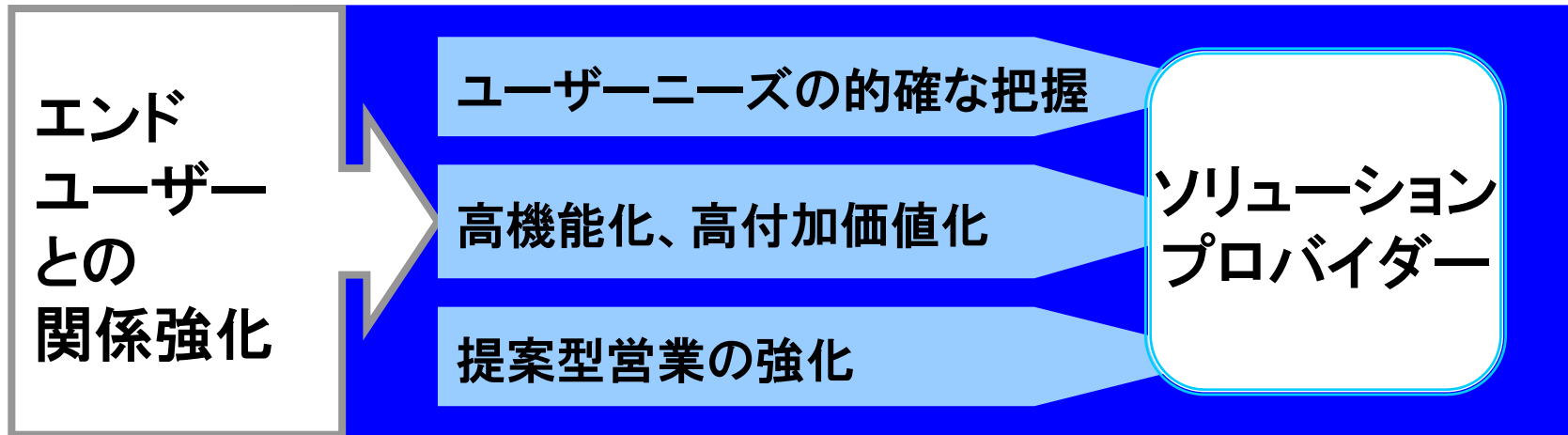
段取り時間の短縮

成型サイクルの短縮

5Sの徹底

JIT体制の構築

ユーザー基点の営業姿勢



ユーザー基点の営業姿勢

4月に東京オフィスを新たに開設



ショー
ルーム

キッチン
スタジオ

一体運営による ユーザー基点の行動

首都圏営業部

営業開発部

マーケティング部

製品企画部

価値
創造

提案型営業の強化

中国事業の方針転換

既存の経営資源を再活用
収益確保にメド

市場からの揺るぎない信頼
行政からの確固たる認知

高機能・高付加価値市場の存在

当社グループ発展の原動力に！

開花しつつある中国での事業

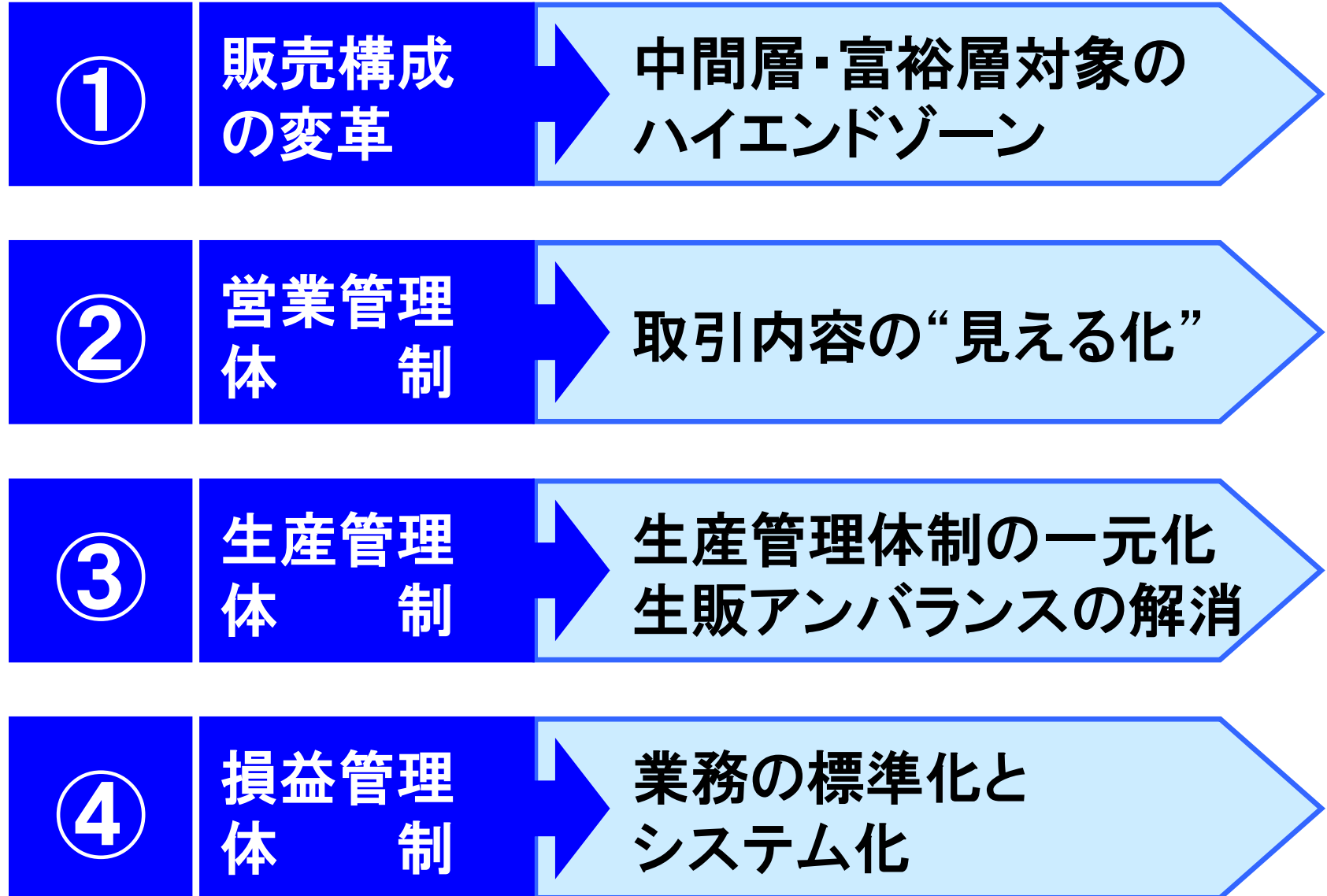
北京五輪、上海万博、広州アジア大会での採用

- 上海万博では唯一の容器メーカーに指定
- 認知度(存在感)を高める大きなアピール効果

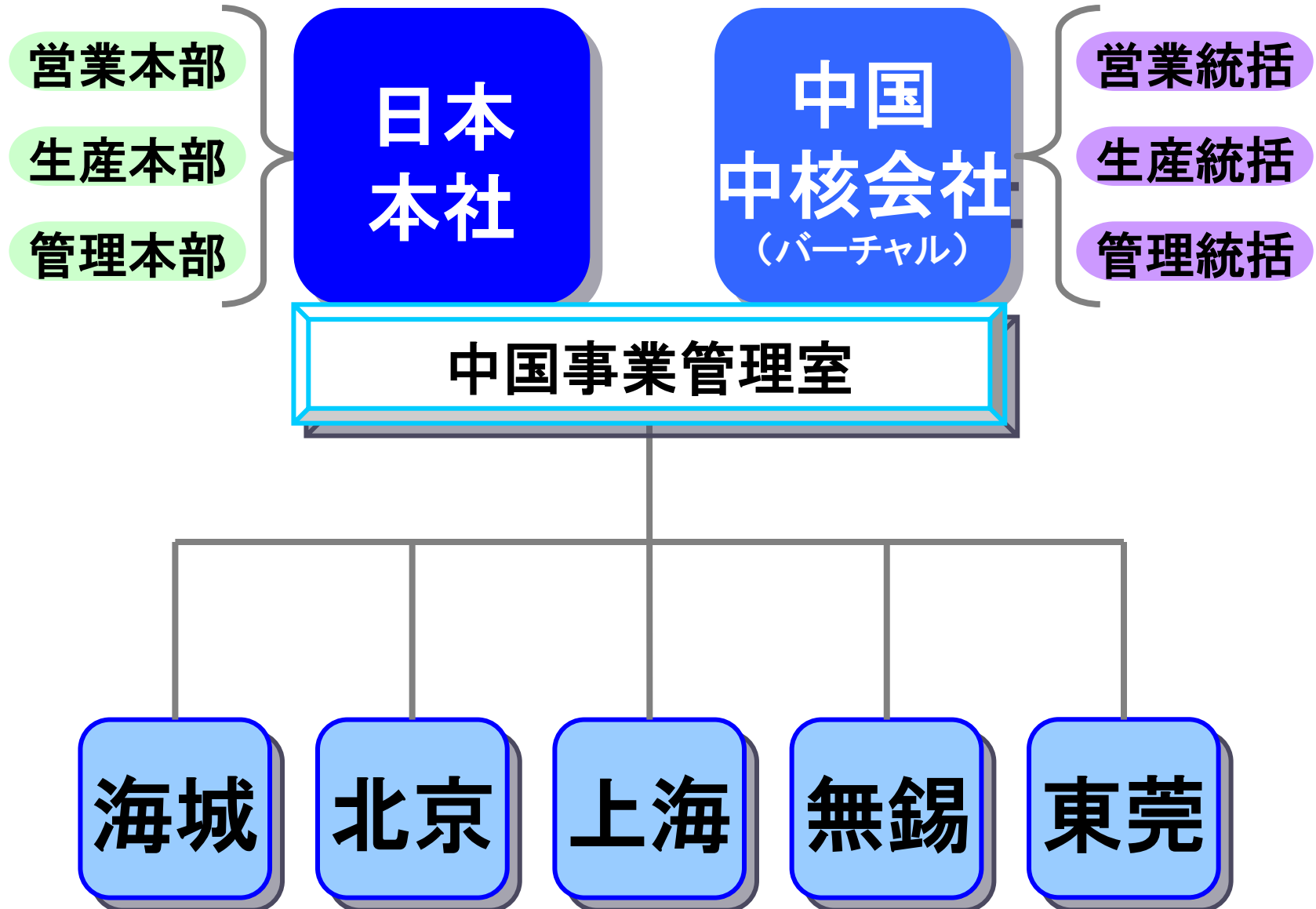
鉄道での弁当容器の採用拡大

- 中国における新幹線網の整備拡大
- 車内での飲食に対する環境配慮の高まり

中国での収益確保のための事業基盤の再構築



国内外の一体運営

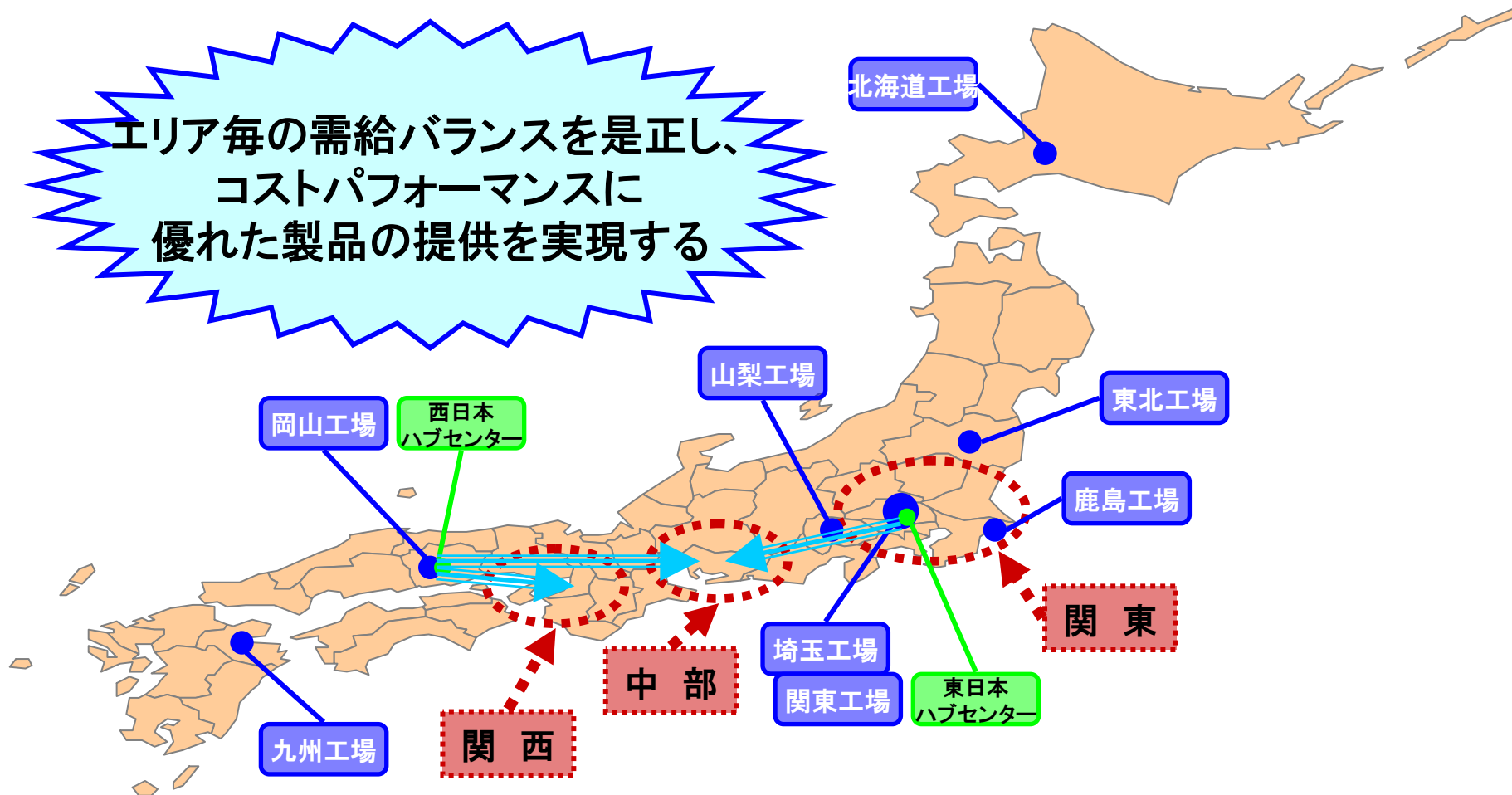


4. 添付資料

 中央化学株式会社

効率的な生産体制の構築

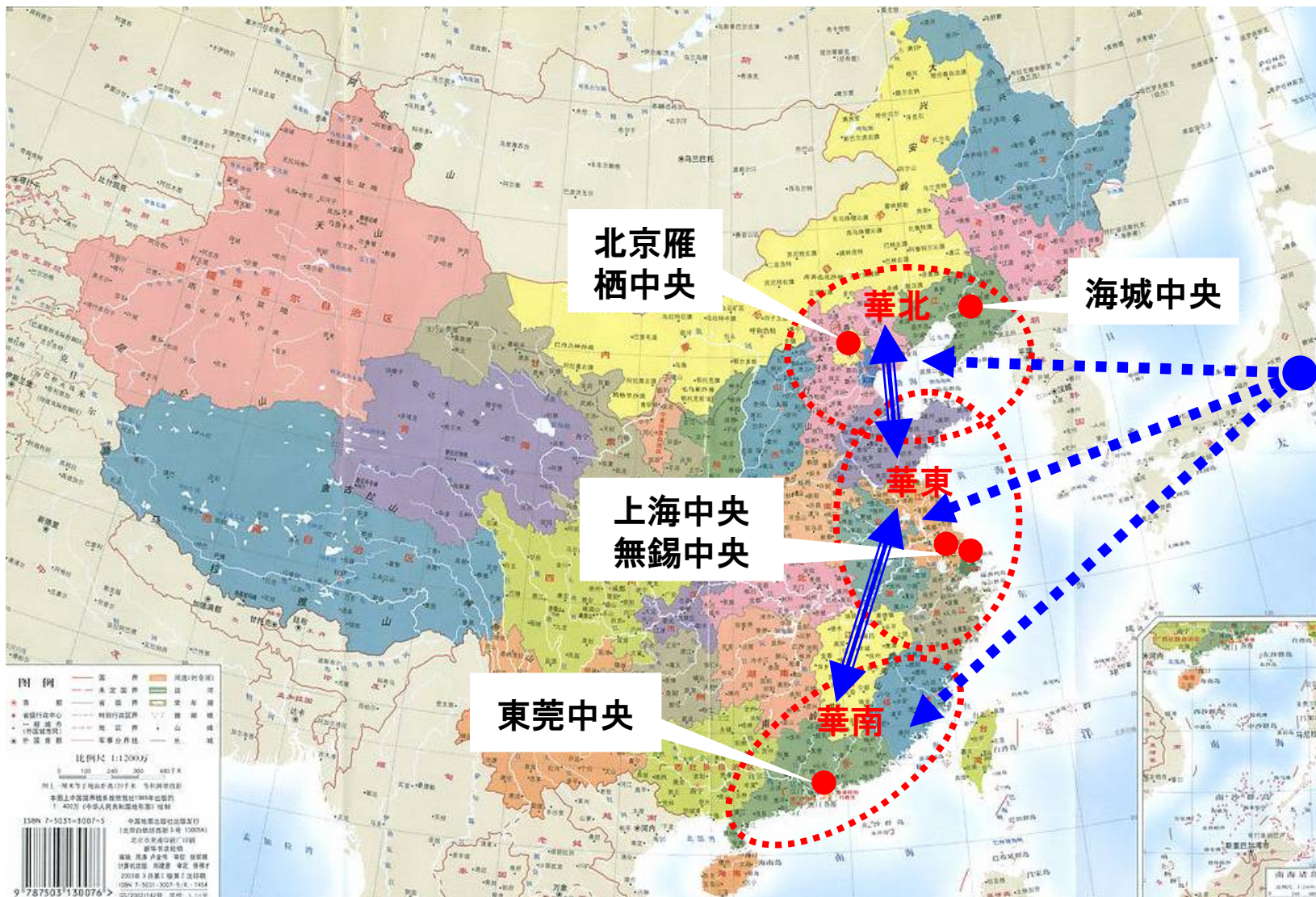
エリア毎の需給バランスを是正し、
コストパフォーマンスに
優れた製品の提供を実現する



東京オフィス



中国事業



本資料は当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

資料に掲載されている事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性及び完全性を保証又は約束するものではありませんのでご了承ください。